

令和2年度

北はりま消防組合

一般会計決算審査意見書

北はりま消防組合監査委員



北消監報第3号  
令和3年9月15日

北はりま消防組合  
管理者 西脇市長 片山 象三 様

北はりま消防組合  
監査委員 高瀬 英夫  
同 大畑 一千代

令和2年度北はりま消防組合会計の決算審査に関する意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により、令和2年度一般会計の決算及びその附属書類について審査した結果、別紙のとおりその意見書を提出します。



令和 2 年度

一般会計決算審査意見書



第 1 審査の対象

令和 2 年度

北はりま消防組合一般会計歳入歳出決算

第 2 審査の期間

令和 3 年 7 月 29 日から令和 3 年 8 月 27 日まで

第 3 審査の方法

審査に付された決算書及び決算附属書類の計数等の正否の確認並びに必要に応じて求めた決算に関する資料に基づいて、予算執行の適否及び決算経理について、関係職員から事情を聴取する等の方法により審査した。

第 4 審査の着眼点

定期監査時に提出を求めた、「財務に関するリスク評価シート」から項目を抽出し、そのリスク発生に対する対応（防止）策等を確認した。

第 5 審査の結果

本審査の対象となった一般会計の決算及びその附属書類は、いずれも関係法令に基づいて調製されており、その計数には誤りがなく適正であると認められた。

審査の概要と意見は次のとおりである。

- (注) 1 文中及び各表中の金額は原則として千円単位としたため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 文中及び各表中の比率は原則として小数点以下第 1 位までとしたため、比率の計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 各表中の「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。

# 1 決算の概要

一般会計の決算状況は、

予 算 額	2, 7 4 4, 4 7 5 千円
歳 入 決 算 額	2, 4 7 7, 7 1 4 千円
歳 出 決 算 額	2, 4 4 8, 3 3 3 千円
歳入歳出差引額	2 9, 3 8 1 千円

となっている。

形式収支額は29,381千円で、実質収支額も同額となっている。このうち地方自治法第 233条の 2 の規定に基づき15,000千円を財政調整基金へ繰り入れ、差引き14,381千円が翌年度へ繰り越されている。

本年度の決算規模を前年度と比較してみると、歳入で95,457千円、歳出で 101,229千円がそれぞれ減少している。

主な内容は、歳入においては前年度に比べ、財産収入が 2,163千円、繰越金が 703千円、諸収入が 9,393千円とそれぞれ増加したが、分担金及び負担金が16,748千円、使用料及び手数料が 268千円、組合債が90,700千円とそれぞれ減少している。

一方、歳出においては、前年度に比べて議会費が33千円、総務費が51千円とそれぞれ増加したが、消防費が96,391千円、公債費が 4,922千円とそれぞれ減少している。

## (1) 歳入

(単位：千円)

区分 年度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現額と収入 済額との比較
元	2,571,397	2,573,171	2,573,171	0	0	1,774
2	2,744,475	2,477,714	2,477,714	0	0	-266,761
増減額	173,078	-95,457	-95,457	0	0	-268,535

本年度の歳入決算額は 2,477,714千円で、予算現額を 266,761千円下回っているが、予算現額に対する執行率は90.3%となっており、おおむね予定どおりの収入が確保されている。

款別の歳入決算額は、第 1 表のとおりである。



第1表 款別歳入決算額比較表

(単位：千円、%)

区分 款別	元年度		2年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	2,399,128	93.2	2,382,380	96.2	-16,748	-0.7
使用料及び手数料	3,727	0.2	3,459	0.1	-268	-7.2
財産収入	94	0.0	2,257	0.1	2,163	2301.1
繰越金	10,905	0.4	11,608	0.5	703	6.4
諸収入	5,817	0.2	15,210	0.6	9,393	161.5
組合債	153,500	6.0	62,800	2.5	-90,700	-59.1
計	2,573,171	100.0	2,477,714	100.0	-95,457	-3.7

第1表中、分担金及び負担金については、構成市町からの負担金で収入済額は2,382,380千円で、前年度と比べ16,748千円の減収となっている。

各市町負担金は、第2表のとおりである。

第2表 消防費市町負担金

(単位：千円)

年度 市町	西脇市	加西市	加東市	多可町	合計
元	724,380	670,361	626,379	378,008	2,399,128
2	715,319	667,024	619,650	380,387	2,382,380
増減額	-9,061	-3,337	-6,729	2,379	-16,748

(2) 歳出

(単位：千円、%)

年度 区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元	2,571,397	2,549,562	0	21,835	99.2
2	2,744,475	2,448,333	268,000	28,142	89.2
増減額	173,078	-101,229	268,000	6,307	-10.0

本年度の歳出決算額は2,448,333千円で、予算現額に対する執行率は前年度に比べ10.0ポイント減少し89.2%となっているが、翌年度繰越額を含めると99.0%となり、おおむね予定どおり適正に執行されているものと認められた。

款別の歳出決算額は、第3表のとおりである。

第3表 款別歳出決算額比較表

(単位：千円、%)

区 分	元 年 度		2 年 度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	229	0.0	262	0.0	33	14.4
総 務 費	28,127	1.1	28,178	1.2	51	0.2
消 防 費	2,227,651	87.4	2,131,260	87.0	-96,391	-4.3
公 債 費	293,555	11.5	288,633	11.8	-4,922	-1.7
合 計	2,549,562	100.0	2,448,333	100.0	-101,229	-4.0

第3表中、前年度に比べ消防費の主な減少理由は、車両更新計画に基づく消防車両の更新台数が前年度より2台少なかったことによるものであるとの説明を受けた。

## 2 財産に関する調書

財産の状況は、次表のとおりである。

区 分	単 位	前 年 度 末 現 在 高	決 算 年 度 中 増 減 高	決 算 年 度 末 現 在 高
土 地	m <sup>2</sup>	0	0	0
建 物	m <sup>2</sup>	177	0	177
物 品	台、式	72	2	74
基 金	千円	149,322	32,079	181,401
財政調整基金	千円	38,945	12,017	50,962
消防施設整備基金	千円	110,377	20,062	130,439

## 3 結び

本年度決算の概要は前述のとおりであり、審査した限りにおいて、適正な決算状況であると認められた。事務及び予算の執行に際しては、その重要性を認識され健全な組合運営の維持に努められたところである。

### (1) 事業執行

消防施設整備事業として、加西消防署庁舎空調設備の改修工事、

西脇消防署多可出張所新築工事（翌年度繰越）、車両更新計画に基づいた消防車両の更新等に取り組み、また職員研修においては、消防大学校、兵庫県消防学校をはじめ、各機関での研修受講や、教官としての兵庫県消防学校への職員派遣、隊員としての兵庫県消防防災航空隊への職員派遣を行い、職員の能力、技術の向上に努められている。

(2) 財務に関するリスク評価

定期監査時に提出を求めた「財務に関するリスク評価シート」から項目を抽出し、そのリスク発生に対する対応（防止）策等の説明を受け、一部を除き適切に対応されていることを確認した。今後も引き続き、適切な対応に努められ公金（準公金を含む。）等の適正管理に留意されたい。

○主なリスクの内容及び対応（防止）策

業務内容	リスクの内容	対応（防止）策
支払事務	過大過小支出、二重支払	ダブルチェック体制 マニュアルの整備
他団体の会計事務	現金の紛失	通帳・印鑑を別々に保管 各団体による監査の実施

※主なものを抽出して表示

(3) 最後に

現在は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会生活は大きく変化し、多くの業務も縮小や中止となっているが、地域住民が安心して日常生活を送るための業務を担う機関として、今後も引き続き災害時には迅速で円滑な対応を行い、管内住民の生命と財産を守ると共に、安全で安心な暮らしを送れるまちづくりを目指されたい。

